



## 異常に突出しているIT教育予算 ゆとり教育予算へIT教育予算並みの配分を!

5日の大垣市議会一般質問で「教育予算の使われ方」について質問しました。IT教育と不登校対策、そして学習支援教育としての水都っ子プラン、その予算配分からみて、大垣市は何を大事にした教育を行っているのかをたどりました。

市議会議員

菅田トヨ子

### IT教育は全国トップクラス

大垣市はIT教育に力をいれ、校内LAN設置率全国1位、コンピュータ指導教員数全国4位です。また各学校にパソコン42台、全体で1092台が配置され、リース代9149万4千円がかかっています。小学校では1台につき約6万円、中学校では1台につき13万円のリース料になります。これだけのお金をかけてその活用状況はとみると、小学校で1クラスがコンピュータをつかって行う授業は年間10

表1) 平成16年度決算実績報告書より

IT関連	1億4697万円	教育情報ネットワーク事業、校内LAN活用推進事業、教育用コンピュータ活用推進事業など
不登校関連	2765万円	ほほえみ相談員設置推進事業、子どもと親の相談事業、教育相談事業、ほほえみ教室、など
水都っ子プラン	2288万円	4時間 非常勤講師：小学校15人、中学校7人配置

時間ちょっとです。費用対効果からみてちょっと高すぎるのではないのでしょうか。

### 不登校出現率全国平均上回る

表2の「不登校児童生徒の出現率」をみると、小学校も中学校も大垣市は全国や岐阜県の平均よりも出現率は上回っています。大垣市は不登校対策としてほほえみ相談員の配置やほほえみ教室の設置、ほほえみスタディサポート事業などを行っています。減少してきているとい

表2) 不登校児童生徒の出現率(%)

年度	全国		岐阜県		大垣市	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
12	0.36	2.63	0.46	2.86	43人 0.48	169人 3.53
13	0.36	2.81	0.46	3.06	46人 0.52	187人 4.00
14	0.36	2.73	0.45	2.84	45人 0.51	196人 4.26
15	0.33	2.72	0.37	2.77	31人 0.35	153人 3.42
16	0.32	2.73	0.36	2.70	40人 0.45	153人 3.51

われますが、依然として全国平均を上回り、はっきりとした効果は認められません。不登校対策事業の多くが対症療法であって、不登校児童生徒を生み出さない学校づくりが大切なのではないでしょうか。

### 少人数学級の推進で学ぶ喜びを、友達とのかかわりを

不登校児童生徒が出てこない学校とは、子ども同士の教えあい・学びあいで、「自ら学ぶ力」を育むといった、子どもが自ずと行きたくなるような学校です。そのためには少人数学級の実施などでもっと授業改善に重点をおいた教育改革が重要です。ところが、大垣市の場合、学習支援事業である水都っ子プランの予算は2288万円とIT教育の7分の1に過ぎません。せめて、IT教育並みの予算を配分することで少人数学級を実施することができ、学校現場は変わってくるのではないのでしょうか。

ご意見・ご質問等はこちらへ

<http://www.sasada-toyoko.jp/>

TEL 81-1383

e-mail: [sanbal@sasada-toyoko.jp](mailto:sanbal@sasada-toyoko.jp)